

知れば、 変わる。

～見えていないものを見るために～



かけはし 第44号

【編集・発行】彦根市男女共同参画センター「ウィズ」

〒522-0041 彦根市平田町670

TEL/FAX 0749-24-3529 E-mail with.hikone@oboe.ocn.ne.jp

【編集委員】近野 涼、吉田 武史、ウィズで集う会

【表紙デザイン】近野 涼

令和7年3月1日発行

働く女性に立ちはだかる壁とは？

理想にはまだ遠い3つのギャップ

Q 女性の社会進出が進み
働いている女性が
増えているのでは？

A 総務省が発表している
「労働力調査」によると、
令和4年の女性の労働力人口は
3,096万人で過去最高 ↑
(昭和60年は2,367万人)

ギャップ 1

給料の不平等が
解消されていない！
出産後に正社員として
働けない人が多く、
賃金や待遇の格差がある。

「労働力調査」より非正規雇用は
女性労働者の**53.4%**を占める。
正社員のピークは**25～29歳**で、
それ以降は下降していくのみ。



Q 令和の昨今は
職場や周囲の理解も
得やすいのでは？

A 令和元年9月の世論調査
によると、「夫は外で働き、
妻は家庭を守るべきである」
という考え方に
反対な人は約6割

ギャップ 2

実際の家事や育児・
介護はまだまだ
女性が負担している。

総務省の「令和3年社会生活
基本調査」によると、
6歳未満の子どもをもつ夫婦は、
共働き世帯であっても
妻が夫の4倍の時間を
家事や育児・介護に使っている。

Q 産後パパ育休の新設や
給付金引き上げなど
子育て中の人への制度も
充実しているのでは？

A 2025年には
さらなる拡充が
予定されている

ギャップ 3

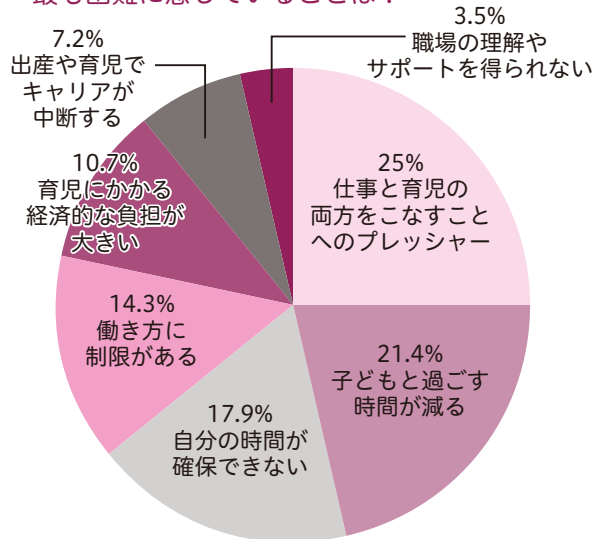
うれしい拡充だが、
問題は他にもある。
当事者の立場になって
課題を把握することが大切。

地域での就業格差
待機児童問題
時短勤務は3歳まで
小1の壁 etc.



28人に聞いたリアルな課題

1.仕事と育児を両立するうえで最も困難に感じていることは？



2024年8月に彦根市に住む子育て中の働く女性28人にご協力いただき、アンケートをとりました。子育て世代の女性を対象にした理由は、働く女性の中でも課題感が強いと考えられたためです。

H.Yさん



子どもが体調不良のとき、職場に対して申し訳ない気持ちがどうしてもある。ありがたいことに職場の理解はあるが、自分の気持ちが沈んでしまう。

N.Yさん



「仕事はできるけど、働く時間が限られているから給料を上げられない」と言われた。勤務時間で評価を決める体制が改善されればうれしい。

A.Tさん



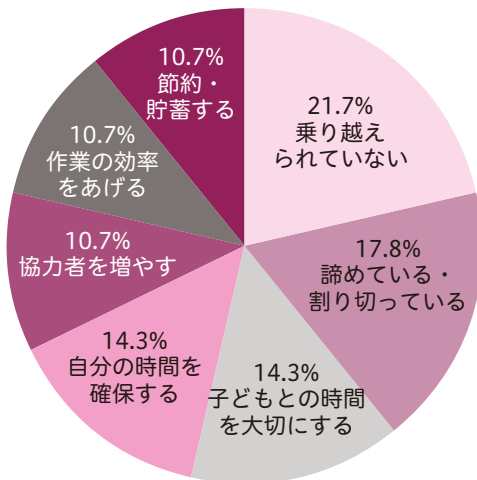
子どもがかわいくて3人目を出産予定だが、これからかかる生活費や教育費を考えると、物価高もあり本当にやっていけるか不安に感じている。

K.Mさん



出産前と後では求められているものが違う、と割り切って働いている。

2.困難に対してどんな工夫をして日々乗り越えている？



困難に感じていることに対して「乗り越えられていない」「諦めている」などと回答した人が4割近くいました。まさに壁に直面しているワーキングマザーたちが、より生き生きと働ける世の中になるようさらなる取組が必要だと言えるでしょう。

当事者目線で抱えている課題を把握することが、ボーダーレスな社会への始まりです。

ページ担当者から一言

私自身、出産・育児を機にキャリアダウンを余儀なくされました。女性が働きやすい環境は整いつつあり、選ばなければ仕事も子どもの預け先も全くないわけではありません。ただ、なんらかの妥協や我慢がある中で、輝けるのでしょうか？今や雇用者総数の45.8%が女性です。女性の活躍が経済の発展に影響を与えるほどの人数になっています。中でも、未来を担う子どもたちのすこやかな成長を見守るワーキングマザーたちが、少しでも働きやすい社会になることを願います。

私は幸いにも周囲の理解や協力があり「フリーランス」という働き方にたどり着きました。正社員だった頃よりも早い時間に子どもを保育園へ迎えに行くことができ、自分のやりたい仕事をやっている充実感もあります。理解を示し支えてくれる夫、かわいい息子に感謝を絶やさず、これからも理想の環境を作り出す努力を続けていくつもりです。

近野 涼

関係性の時代

～ 思考→行動→結果、最後は関係性 ～

皆さん、「成功の循環」という言葉をお聞きになったことはありますか？今までは思考（アイデア）→行動（アクション）→結果（リザルツ）→新たな思考→… 所謂PDCA サイクルと呼ばれる思考の質や行動の質、そしてそこから生み出される結果の質が問われていましたが、本当の成功に至るには「関係の質」こそが重要視される時代になりました。思考→行動→結果→関係性→思考… です。

関係性の重視は言うまでも無く男女共同参画の理念にも繋がります。

大谷翔平が花巻東高校1年時に立てた目標達成表

[illegible]

(注) FSQ、RSQは筋トレ用のマシン（出所）スポーツニッポン

一つの例を挙げます。大谷翔平選手のスゴさについては今更説明の必要はありませんね。では何がスゴイんでしょう？二刀流だから？身体能力？人格？今までの選手とどこが違うのでしょうか？左図をご覧くださいになった方も多いのではないですか？OW（オープンウィンドウ）64と言って、自分の目標を中心のマスに書き、それを達成するために必要なことをその周りに8つ書き、その一つ一つを達成するのに必要なことをまた8つ書いていくという実践思考法です。大谷選手のゴミ拾いやマナーの良さもすべてこの中に既にあります。

でも私達が注目すべきは、肝心のその目標です。「8球団からドラフト1位指名される」普通の高校生なら何と書きますか？「甲子園出場」「全国制覇」など書くと思います。またこんな個人の目標を掲げた人物を部員達はどう思うでしょう？大谷選手が高校時代に仲間外れにされたとかいう話もありません。どうしてこんな目標を立てたのでしょうか？そして部員達はそれを受け入れることができたのでしょうか？

～「VUCAの時代」の考え方、社会構成主義～

皆さんVUCA（ブーカ）という言葉をご存じですか？これからは「VUCAの時代」だと言われています。そんな中、社会構成主義という考え方が注目を集めています。それは全ての知識や事実はコミュニケーションや協力、そうした関係性の中で構築されるという考え方で、一言で言うと

物事にはそれ自体に絶対的な価値はなく、関係の中で価値が決まる。

V Volatility 変動性 変化のスピードが早く状況が急速に変化する

U Uncertainty 不確実性 「何が起きるか」の予測が難しい

C Complexity 複雑性 さまざまな要素が複雑に絡まりあっている

A Ambiguity 曖昧性 物事の因果関係があいまい

教育の世界でもグループワークやアクティブラーニングが盛んに行われています。しかし、4人で協力して素晴らしい発表や研究をしたから4人で合格！なんて聞いたことがないですよ。結局入試になると個人対個人、個人で何点とるか、個人で完結。社会に出るとそんなことはほとんど無いにもかかわらず。これからの「VUCAの時代」に適応していないのも明らかです。

話を大谷選手に戻したいと思います。

大谷選手がなぜあのような目標を掲げることができたのか？それは自己肯定感はもちろんですが、非常に大きな自己効力感も持っており、そういう指導も受けていたからです。またその目的・目標達成のためには周りの大きな協力も必要であること、つまり高い関係性が大切であることまで分かっていました。自分一人がいくら野球の技術を磨いたところで、上手くなったところで限界があることも理解していたからだと言えます。

自己肯定感 + 自己効力感 + 質の高い関係性 = 目的・目標達成

～ TA (交流分析) をご存じですか？ ～

大谷選手の母校、花巻東高校の佐々木監督は、私と同じく原田隆史先生の主催する教師塾の塾生でした。OW64 も目的・目標達成技術もそこで学ばれました。その教師塾で生徒や保護者、同僚つまり周囲の人たちとの関係性を高めるために非常に有効であるということで、カリキュラムの中にあつたのがTA (Transactional Analysis、日本語で交流分析) 心理学だったのです。



TAは50年代初期にアメリカの精神分析医エリックバーンによって創始されました。人との交流を通して自分を知る、つまり自分を律する自律を目的とした考え方は人間関係の問題解決に非常に有効であるとして、以後世界中の組織、企業、学校、医療現場に広まりました。

これを教師塾の塾生に体得させようと考えた原田先生は日本にたった3人しかいない国際TA協会公認准教授、松井直輝先生を招聘されました。

大阪でいくつもの保育園、子ども園を経営され現在は相談役を務めておられる幼児教育のスペシャリストでもある松井先生のTAは平易で分かりやすく、また非常に実践的でもありました。大谷選手も佐々木監督を通じて学んだに違いありません。質の高い関係性、コミュニケーションを構築するTA心理学。それがあのような選手の出現を引き出した一つの要因だと確信しています。

これからの時代、つまり「VUCAの時代」「関係性の質を問われる時代」において、TAはその必要性を益々高めています。他人との関係を何とかしたい。関係性の質を上げたい。そのためにまずは自分を知って、そして必要であれば、変えたいと思うのであれば自分を変える。そして人との関係を変える。相手に変わってもらうのではなく、自分をコントロールする、つまり自律こそがTAの目的なのです。これからは「関係性の時代」です。

質の高い関係性の中からこそ新しいもの、価値あるものが生まれるのです。

ページ担当者から一言

松井先生は年間250本以上の講演、研修で全国を飛び回り、私自身も教育委員会やPTA 連合会主催の講演会、多くの企業研修にお呼びいただき、PMAJ (日本プロジェクトマネジメント協会) 主催の全国シンポジウムでも講演をさせていただきました。また(株)nadeshico 様のご協力の下、TA 勉強会「一志塾」を開催して十期を数えるに至り、昨年度よりTA教育研究所を設立して更に活動を広めています。

本当に良い仕事、プロジェクトをやり遂げた時、よくこんなセリフを聞きますか？

「もう一度、このメンバーでやりたい！」これこそが最高の関係性です。やっぱり仲がいいってサイコーですね！！TAにご興味のある方、勉強してみたい方は「ウィズ」までご連絡ください。一緒に学びましょう！

with.hikone@oboe.ocn.ne.jp 0749-24-3529 彦根市男女共同参画センター「ウィズ」

吉田武史 (TA教育研究所)

ウィズと共に歩む

市民の集う場所

女性のパワーが結集した NPO ぽぽハウス



NPOぽぽハウスは「女性の明日を考える市民のつどい」（現彦根市男女共同参画フォーラム）から生まれました。分科会で高齢者問題の寸劇に取り組んだ人達が自ら望む介護サービスを検討し、18人の女性が集まって1999年にNPOぽぽハウスを立ち上げたのです。当時はNPO法や男女共同参画社会基本法が成立し、何かしたいという女性たちのエネルギーがあふれていました。

“誰もが「生きていてよかった」といえる街をつくりたい”を目標に、居宅サービス（ヘルパー派遣）事業から始まった活動は、市民のニーズに応じて広がり、人のつながりも増えました。3世代交流を目指した施設の指定管理者、ウィズ事業への参加、子育てキャラバンから始まり、現在は高齢サービス、障害児サービス、子ども子育て支援、地域の人とのつながりを創る「いきいき広場」など60人の職員が活動しています。

柔軟性とあたたかさ、フットワークの軽さ、NPOの特性を生かし、NPOぽぽハウスはこれからも活動を続けます。



1998

ウィズから生まれた 劇団「ウィズ」

2010年に行われた第25回彦根市男女共同参画フォーラム「あなたの笑顔は私の元気 あなたの愛は道標」が「劇団プレイバックーズ」が演じるプレイバックシアターという即興劇との出会いです。これを見たフォーラム実行委員から「自分たちにもできるのでないか」「やってみよう！」という声上がり、「プレイバック劇団ウィズ」が誕生しました。手探りで始まった「劇団ウィズ」でしたが、今では年一回の自主公演、自治会等への人権学習講座、彦根市内小学校へのいじめ防止授業などに携わるまでになりました。

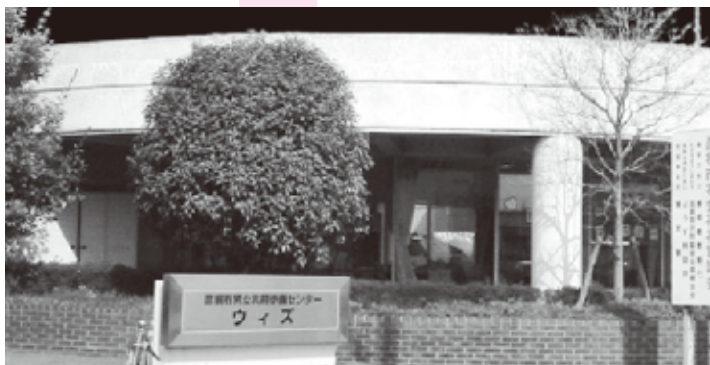
プレイバックシアターは、観客の経験や思いを「その場で再現（プレイバック）」する即興劇です。台本はなく、布と音楽を奏でるミュージシャンがいるだけです。役者はステージに立つまでは何を演じるのか、全く分かりません。ステージに立つとその緊張はMAXになりますが、ストーリーを作り上げていく面白さ、そして役者としての感動がこれまで続けられた理由です。

今年は創立15周年を迎え、記念公演を予定しています。ぜひお越しください。



2010

2003 ウィズ開館



「働く婦人の家」（1981年～）から彦根市男女共同参画センターウィズへと生まれ変わり開館しました。

これからも、子どもからお年寄りまで、地域の人々の笑顔を育む活動を継続していきたいです。



ウィズが育んだ かめの子ども食堂の9年

2016

2016年、学習支援ボランティアの思いから始まった「かめの子ども食堂」。彦根市男女共同参画センターウィズを拠点とすることで、この活動は地域に根付き、9年目を迎えています。

ウィズには栄養士さんや保育士さんなど、子育てや食に関する豊富な知識と経験を持つ人々がたくさん集います。この集いが、子ども食堂を支えています。調理を学びたい男性や、子育て中の母親同士の交流など、ウィズならではの環境が、子ども食堂を多様な形で豊かにしてきました。

また、ウィズが持つ地域への存在感も、子ども食堂の活動を後押ししています。ウィズを拠点とすることで、子ども食堂への理解が深まり、ボランティアの参加も増加。近隣スーパーからの食材寄付も実現し、食料配布まで行えるようになりました。

ウィズは、単なる施設ではなく、地域の人々が繋がり、共に成長できる場です。子ども食堂は、その一つのカタチと言えます。

性別にかかわらず誰もが活躍できるまちを目指し、ウィズが誕生し20年。
多くの団体が生まれ、活動を行ってきました。

ウィズ開館 20 年

指定管理者ウィズで集う会では、ウィズ開館20周年記念事業として3つの事業を実施しました。

1 ジューンベリーに 託す想い記念植樹

2023年9月30日に、ウィズの開館20周年を記念して、テラス前にジューンベリー（樹木名）を植樹しました。この木の言葉は、「穏やかな笑顔」、「穏やかな表情」と言われています。ウィズに集う方々がいつも穏やかな笑顔で様々な活動に参加いただけるように、そして、性別に関係なく一人ひとりがいきいきと輝ける社会が早期に実現できるようにとの思いを込めて植樹を行いました。

植樹セレモニーでは、ひこにゃんをはじめウィズに関わる多くの方々にご参加いただき、心に残る記念事業となりました。昨年の春には、花が咲き6月には実を収穫しジャムを作りました。この木が、ウィズや彦根市の男女共同参画推進のシンボルツリーとして、市民の皆さんに親しまれながら、大きく育つことを願っています。

2 開館 20 周年記念 ウィー・ズー & ひこにゃん コラボバッジ製作

「ウィー」と「ズー」は2015年10月に誕生したウィズの公式キャラクターです。

キャラクターやバッジを通じて、ウィズや「男女共同参画」を更に多くの方に知っていただき、親しみを持ってもらうことを願って作りました。

数量限定ですが、ご希望の方はウィズまでお問合せください。
1個300円以上の協力金をお願いしています。



2023 -2024

ウィズはこれからも
あなたや私が声を出せる場所、
やりたいことを実現させる場所で
あり続けます。

3 市民が集う対話の場 ウィズミーティング

With
Meeting



植樹セレモニーにはひこにゃんが駆けつけてくれました。



哲学対話はひとつの輪になり「共に問い、考え、語り、聞く」対話手法です。

2024年3月2日に開催したウィズ20周年事業「ウィズミーティング」では、前半に市民が自主勉強会を立ち上げ、よりよい暮らしを目指してきた歴史を振り返り、後半は哲学対話の体験の場を企画しました。同年に開催した哲学対話の第一人者・梶谷真司さんを講師に招いた彦根市男女共同参画フォーラム（同年3月24日開催）のプレ企画としての実施でもありました。

2024年9月26日には「ウィズミーティング」という名称を引き継ぎ、哲学対話の場を再び開きました。今後もフォーラムでの学びとウィズという活動拠点がある強みを活かした新事業として、「男女共同参画とは?」「自分らしく生きるとは?」を市民と共に問い続けていきたいと考えています。ここからまた市民による新しい企画や活動が誕生するかもしれません。

ページ担当者から一言

ウィズができて20年。私たち、ウィズで集う会がこの館の運営をはじめて19年。今回、広報誌の誌面をいただくことになり、会のメンバーで話し合っ、ウィズで生まれた活動と、20周年記念事業の紹介をさせていただきました。インターネットやスマホのおかげで、出会いや交流はオンラインを使う、ということが多くなりましたが、この編集を通じて、ウィズというリアルな場があったこと、今もあること、これからもあり続けることの意味を再確認できました。それは人が生み出す「温度」の存在です。沸き立つ温度、ゆっくり温める温度、保つための温度がウィズにはあります。

この広報誌を見て、初めてウィズを知った皆さん、ぜひお立ち寄りください。「知れば、変わる」。何かいいことが生まれるかもしれませんよ。

「家庭って何?」「夫婦って何?」

演劇&トークで考える ジブンらしい生き方



コメディ演劇『婿殿はつらいよ』上演

私たちは「ジブン」を
もっと語っても
いいと思う

2025

3/20 (木・祝)

入場
無料

13:00 ~ 15:00 (開場 12:40)

ひこね市文化プラザ メッセホール
彦根市野瀬町 187-4

定員：先着 150 名 (お席に余裕がある場合は当日参加も受付ます)
申込：申込フォーム、電話、FAX、または E-mail から

- ・手話通訳あり (要申込)
 - ・託児あり (無料 / 要申込・先着 5 名 / 0 才 ~ 未就学児)
- ※希望の方は 3/12 (水) までにお申込みください

申込フォーム



タイムスケジュール

- 12:40 開場
- 13:00 開会・挨拶
- 13:15 コメディ演劇『婿殿はつらいよ』上演
- 14:20 トークセッション
演者のみなさん × フォーラム実行委員
- 15:00 閉会

出演団体 NPO はまかる

2019 年、長浜市にて演劇を中心とした舞台芸術の振興を目的に設立。地域に暮らす人々が等しく芸術文化に親しむことができる社会をめざし、子どもや若者が芸術文化を通して創造し表現できる環境を実現できるよう活動している。

協力 長浜市パートナーシップ推進協議会 / NPO はまかる

ウィズ相談室のご案内

ひとりで悩まず
話してみよう



【総合相談】

面接相談・電話相談
水・木・金 13:00 ~ 16:00
※最終受付は 15:30 です。

【専門相談】

法律相談・こころの悩み相談
※総合相談での予約が必要です



お気軽にご相談ください

相談室専用

0749-21-5757

相談は無料です。プライバシーは守られます

ウィズのイベント情報はこちらから発信しています
たくさんのフォローお待ちしております

